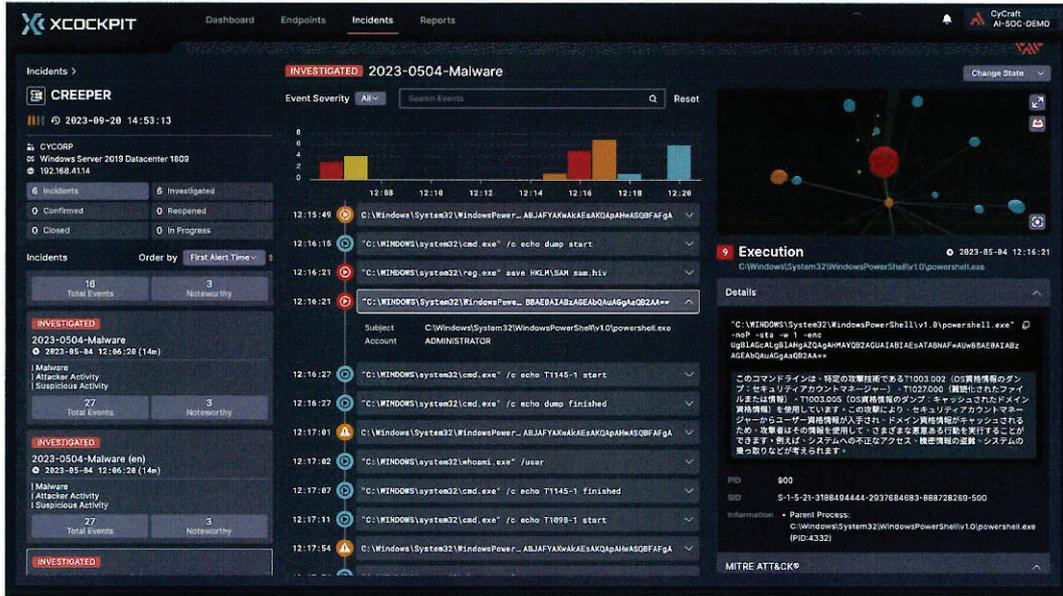


「セキュリティ人材不足」 にどう対処しますか？

エキスパートに代わり、
インシデントの検知、分析、
管理はAIが行います。

AIによるインシデント検知と 初動調査

AIが人に代わって24時間365日、
不審な活動をモニタリングし、危険
度の高いイベントを検知した時には
管理者に報告します。

▶ AIによるインシデント分析

エキスパートに代わりAIが大量のセ
キュリティアラートを相関分析し被害
の進行状況と影響端末を可視化し、
根本原因について迅速に日本語で
報告します。

▶ AIによるチケット自動管理

インシデント発生時に、チケット起票か
らクローズまでAIが自動で管理します。
セキュリティ担当者は対処待ちの
チケットに対応を集中できます。

XCOCKPIT ENDPOINTの利用プラン

EDR/MDR

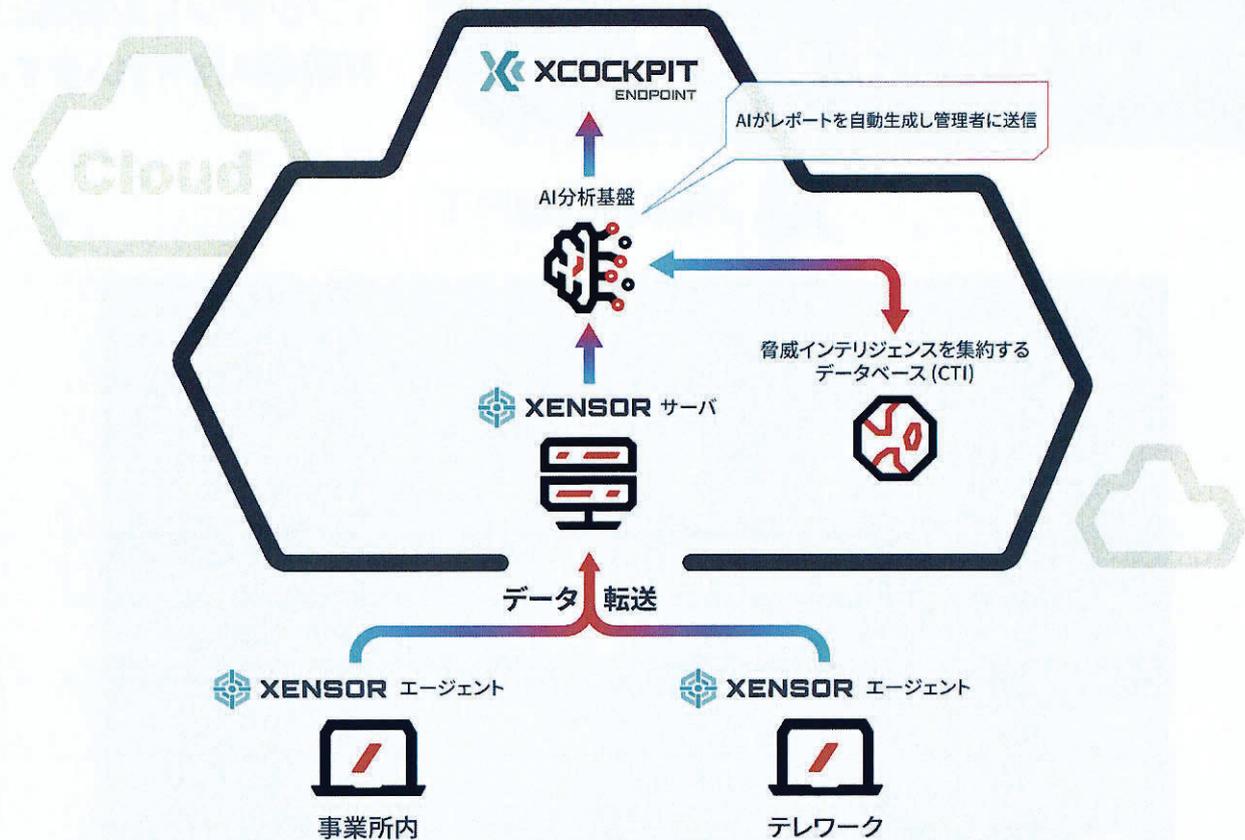
年間ライセンスを購入することで、エンドポイントを常時監視し、侵害された状況をリアルタイムに検知し、短時間で侵害報告を提供します。

侵害調査アセスメント

EDR未導入の組織でも、30日間限定のワンタイムサービスを使うことで、気づいていない侵害の有無を確認できる健康診断のようなサービスです。

事後調査(ファストフォレンジック、IR調査)

EDR未導入の組織がサイバー攻撃の被害を受けた場合に、30日限定のワンタイムサービスで、インシデント発生後の迅速な調査を実現し、侵害状況の把握、対象端末や改善項目の明確化をサポートします。



セキュリティ運用に必要なツールはすべて提供されます

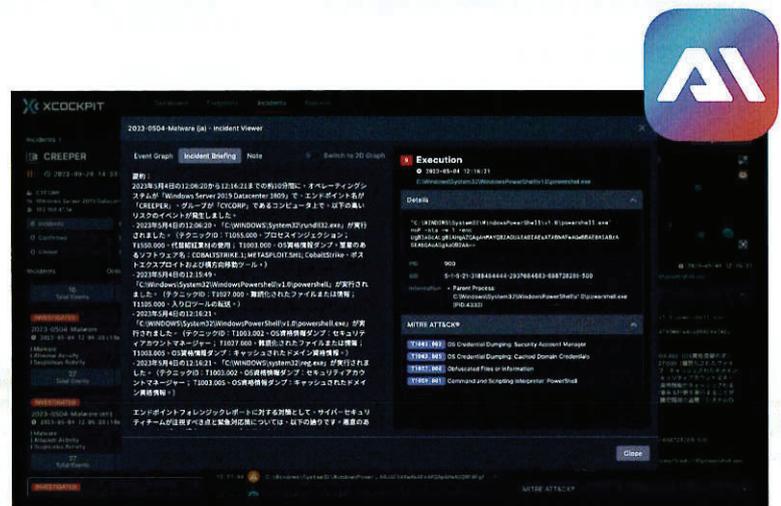
ユーザーに必要な作業は端末にエージェントをインストールするのみ。収集したデータの分析や管理はすべてCyCraftの用意するクラウド上のサーバにて行われるため、ブラウザ以外のアセットを用意する必要はありません。

AIが生成した分析レポートを確認し、優先度の高い項目から対処することで効率的なセキュリティ運用を行えます。

生成AIによるケース解説

特別にチューニングされた言語モデル(LLM)とセキュリティの専門知識を学習させたCyCraftGPTを使うことで、発生したインシデントについての報告や対処策の提案をセキュリティ専門家以外にもわかりやすい平易な日本語で行います。

※英語、繁体字中国語にも対応しています。



【お問合せはこちらまで】

緊急対応東証グループ



株式会社 システム技研

<https://www.sys-giken.co.jp>

本社

06-6344-2875

大阪市福島区福島5丁目6番16号 ラグザ大阪ノースオフィス9階